



■ 政治のこと生活のこと困っていること。田中あきよと一緒に考えませんか?

# 田中あきよ 通信



2018年冬

## 生きづらさゼロの西宮にするために!!

—— 税金は「人」と「人のための場所」に使う ——

### 学校の「当たり前」を見直し「人」をふやす

#### なにが問題?

西宮市内の不登校者数

小学生249名 (0.91% 全国平均0.5%)

中学生491名 (4.31% 全国平均3%)

#### 目的は?

教育方法を検討し、子どもが学校生活に不安を感じたときには、すぐに相談できる環境をつくる。学校に行けなくても、学校以外の選択肢があり安心して通える居場所をふやす。

不登校は問題行動ではない(教育機会確保法)にもかかわらず

①不登校の児童生徒の居場所がない

②子どもや家族、先生が相談できるスタッフが学校内にいない

③先生の業務が多く、子どもに向き合う時間が限られてしまう

#### 今ままの教育方法でよいのか?

#### 対策は?

学校システムやカリキュラムの見直し。中学校区のスクールソーシャルワーカーの配置。小学校35人学級の推進。フリースクールの無償化。

### 災害のとき、どこに逃げるのか?!

#### なにが問題?

①緊急避難場所が少ない

②災害弱者のための避難マニュアルがない

③指定緊急避難所になり得る指定管理者との連携がない

#### 目的は?

国は2016年の熊本地震の経験から、民間や公共の建物の指定管理者と行政が連携し、市の職員が不在でも地域の建物を避難場所にする制度をすすめている。

「防災システム」と「地域単位での横のつながり」を強化し、防災意識と災害に強い街をつくる

#### 対策は?

行政は指定緊急避難場所のマニュアルを作成し、指定管理者と協定を結ぶ。備蓄食料品や飲料水の確保を行い、避難所としての機能も備える。災害弱者の避難を想定した、地域全体の避難訓練の実施と地域避難支援制度の推進。

※避難場所 … 災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所のこととて「緊急避難場所」ともいう。

※避難所 …… 災害によって避難生活を余儀なくされた場合に、一定期間の避難生活を行う施設で「収容避難場所」ともいう。

### 障がいのある子の就学を見直す

#### なにが問題?

①障がいのある子は認可保育園や公立の幼稚園に入所できないことがある

②養護学校の看護師が足りず、家族の送迎や付き添いがないと通学できない

③医療的ケア児の地域の学校の入学には条件があり、断念することもある

④学校生活をサポートする「学校協力員」の採用と雇用条件の改善が必要

#### 目的は?

特別支援教育にいち早く取り組んできた西宮市が、いまや近隣都市から遅れていることに向き合い、ニーズに合った体制を整える。

そして、障がいのある子も健常の子とともに過ごせるインクルーシブ教育をめざし、差別のない社会を築く



#### 対策は?

近隣他市と同様、障がいのある子の就学に関して必要な看護師や協力員の確保は市が責任を持っておこなう。施設、幼稚園、学校などに通う場合の親子通園や親の付き添いなどの条件の廃止。学校協力員の採用、雇用形態の改善し定着を促す

●すべての子どもが障がいの有無や国籍にかかわらず、それぞれ必要とする教育的支援を受けて、通常学級で共に学ぶこと。

日々の困りごと、市政へのおもい、ご質問などお聞かせください。

連絡先は  
裏面です



# わたしたちの地域の未来!!

わがまち近隣地域の人口はまだまだ増える予定です。

現在、甲武中学校区の世帯数は約13800軒。近隣の住宅開発によって14000軒以上になります。

これから発展していくわがまち近隣地域。さらに安全安心なまちにするため

2018年9月「樋ノ口まちづくり協議会」が設立しました!!



土地区画整理事業の実現に向けて、まずは樋ノ口地域の緑地の測量が始まります。

自然豊かで地域力のあるこのまちを、ますます便利で住みやすいまちにするために、皆さんと一緒に提案していきます!

▼ 安全で住みやすい地域に

▼ 公共の建物の必要性

▼ 各種団体と地域のつながり

▼ 福祉学習の充実

## 地元 ❤ Topics

### 今年も大市八幡神社祭 大市太鼓台は圧巻でした!!

10月13日土曜日 秋晴れの気持ちのよい日に、大市太鼓台の曳行がありました。

二日間の曳行の初日、地元ひのくち1丁目ふれあい会館の前に法被を着た大勢の人気が集まり、布団太鼓の威風堂々とした姿に釘付けになりました。

太鼓台復活のために立ち上げられた大市八幡神社太鼓保存会の青年団や、若者を見守る人生の先輩方。子どもたちも力いっぱい担いでいました。

汗と涙の結晶と言えるこの大市秋の例大祭の太鼓台復活は、文化継承、青少年の育成にも大きな意味があります。

この団結力は、災害時にも大きな力になること思います。

兎にも角にも、「かっこよかったです!!」



## 市役所へ 第3回西宮市総合教育会議の傍聴に行ってきました

10月22日月曜日 市役所4階の会議室で総合教育会議の傍聴をしました。

ちなみにPCを持込み記録することができますが、私はブライドタッチができないので専らペンを必死に走らせました(汗)  
石井市長と副市長お二人、有識者や市民から選ばれた教育委員会のみなさん、行政の教育委員会職員というメンバーで会議が進められました。

内容は「子どもの安全を守るために学校環境について」①防災マニュアルについて②学校の災害対応について。

防災に関しては興味津々です。今年度の地震、台風は忘れられません。いや忘れてはいけません。

防災マニュアルに関しては、小学校3校と中学校2校の実際の防災マニュアルが添付され質疑応答がなされました。学校のマニュアル作成は、まず行政からひな型が通達され、それを元に各学校の環境に対応したものが作られます。毎年、防災担当の先生を中心に作成し教育委員会がチェックする仕組みだそうです。

心に残ったのが「避難訓練は各学校だけで行うのではなく、近隣の学校や園と連携しながら行うことが必要」という教育委員会の方のご意見。確かに、幼稚園と小学校に子どもがいて引き渡しを行う場合、どちらから迎えに行くのか、そもそも迎えに行けるのか。動いてみなければわからないこともあると感じました。。。

みなさんも市議会や委員会、会議などの傍聴に行きませんか。  
私たちの生活の大切なことが決まる瞬間に立ちあえるかもしれません!!

## 田中あきよ Profile ❤ しんどい人に優しい街は誰にとっても生きやすい街。ひとりひとりに居場所がある社会をデザインします。

【西脇市出身 西宮市在住21年】娘の不登校をきっかけに「不登校の子どもと親の居場所 トコトコくらぶ」を立ち上げました  
不登校だけでなく様々な生きづらさをかかえる人との出会いがあり、小さな声を世の中に届けるために市政に取り組みます!!

イベント・ブライダル司会者／メンタルケアスペシャリスト／元 育成センター非常勤指導員

【地域活動】不登校の子どもと親の居場所「トコトコくらぶ」／絵本の読み聞かせ／

小学校 特別支援教室 学習ボランティア／中学校 協力員／地域の特別支援学級と特別支援学校の子どもたちの交流場づくり

【自宅】西宮市樋ノ口町1丁目11-6 【Tel & fax】0798-66-4045

【Email】akiyo-tanaka@kishuken0122.sakura.ne.jp

【Blog】https://tanakaakiyo.exblog.jp 【Twitter】@akiyotanaka1

【Facebook】https://www.facebook.com/profile.php?id=100010910193923

BLOG

Facebook

Twitter

